

目標設定の考え方	出典	関連方策
関係機関と連携した取組を進め、基準値より増加させることを目指す	実態把握	6, 7
関係機関と連携した取組を進め、100%を目指す	実態把握	5
「京都府立図書館サービス計画（令和3年度～令和7年度）」の数値目標で掲げる2,000冊の貸出冊数を目指す	実態把握	10
関係機関と連携した取組を進め、基準値より増加させることを目指す	実態把握	12
日本語指導体制の整備を進め基準値より増加させることを目指す	実態把握	15
教員養成サポートセミナー連携大学の増加や教師力養成講座募集定員の増加、新規プログラムの実施等により、過去最高水準の250人の参加を目指す	実態把握	17
主体的に研究活動を行う若手教員を支援する取組を進め、令和3年度から5年間で延べ250人の参加者を目指す	実態把握	17
府内全市町（組合）教育委員会（京都市を除く。）での設置を目指す	実態把握	33
全ての府立高校で策定を目指す	実態把握	36
すべての府立高校で1棟1系列のトイレ洋式化を目指す	実態把握	40

No	目標指標	種別	単位	基準値 (令和元年度)	目標数値 (令和7年度)
11	経済的に困難な家庭の子どもの「全国学力・学習状況調査」における平均正答率の府平均正答率との差	成果	ポイント	小6国語(要保護):-25.7 小6国語(準要保護):-10.7 小6算数(要保護):-20.0 小6算数(準要保護):-10.7 中3国語(要保護):-32.0 中3国語(準要保護):-10.0 中3数学(要保護):-28.1 中3数学(準要保護):-12.5	府平均(0)に近づける
12	教員採用選考試験志願者倍率	成果	倍	4.2 (令和2年度)	5倍以上
13	授業中にICTを活用して指導する能力がある教員の割合	成果	%	67.9	100
14	教員の時間外勤務の縮減率	成果	%	8.9 (平成29年度)	45.0
15	教員の休日の部活動指導の縮減率	成果	%	20.6 (平成29年度)	45.0
16	「京都府母校応援ふるさと事業」による府立学校への寄附額及び寄附件数	成果	万円 件	6,899 163	58,221 150

目標設定の考え方	出典	関連方策
関係機関と連携した取組を進め、府平均に近づけることを目指す	文部科学省「全国学力・学習状況調査」	8～13
教員をとりまく環境改善、学生に対する教員養成及び大学説明会の充実強化により志願者数を増やし、5倍以上の倍率を目指す	実態把握	16～17
教員のICT活用能力の育成に関する取組を進め、100%を目指す	学校における教育の情報化の実態等に関する調査	16、22～23、28
教員の時間外勤務を給特法に基づく指針の上限時間（月45h）以下とする場合の縮減率を目指す	教職員の働き方改革実行計画（評価指標）	27～32
休日の部活動指導は、教員の時間外勤務に直結しているため、上記と同様、上限時間（月45h）以下とする場合の縮減率を目指す	教職員の働き方改革実行計画（評価指標）	31～32
各府立学校が掲げる目標額総計（延べ）と過去の寄附件数を踏まえた毎年150件の寄附を目指す	実態把握	42～43

推進方策5 学校・家庭・地域の連携・協働と社会教育の推進

No	目標指標	種別	単位	基準値 (令和元年度)	目標数値 (令和7年度)
1	家庭教育に関する講座等の開催回数	活動	件	387	増加させる
2	保護者への学習機会の提供や家庭教育支援チーム活動を行っている教育委員会の割合	活動	%	16.7	50
3	地域学校協働本部を設置している教育委員会の割合	活動	%	66.7	100
4	コミュニティ・スクールを導入している学校の割合	活動	%	小:18.1 中:12.9 高: 2.1 特:18.2	小:100 中:100 高:100 特:100
5	地域学校協働活動推進員とその候補者を対象とした研修会の受講者数	活動	人	66	増加させる
6	地域の特色を活かした子どもの活動の場の数	活動	教室	84	増加させる
7	「地域交響プロジェクト」を活用した取組の数	活動	取組	—	50
8	高校生の就職内定率	活動	%	98.6	高水準を維持
9	キャリア教育に関する体験活動を実施している学校の割合	活動	%	小:100 中:100 高:100	100
10	「子育て・幼児ふれあいプログラム」を実施した中学校及び府立学校の割合	活動	%	中:72 府立:100	100
11	社会教育・生涯学習関係職員を対象にした資質の向上を図る研修会への参加者数	活動	人	89	増加させる

目標設定の考え方	出典	関連方策
関係機関と連携した取組を進め、基準値より増加させることを目指す	実態把握	1~7
市町村教育委員会への啓発を進めることにより、50%を目指す	実態把握	2, 3
市町村教育委員会への啓発を進めることにより、100%を目指す	実態把握	8
地域に開かれた学校づくりを実現する取組を進め、100%を目指す	実態把握	9
地域コーディネーターから地域学校協働活動推進員への移行を促し、推進員の増加を目指す	実態把握	10
「京のまなび教室」の取組を進め、基準値より増加させることを目指す	実態把握	12
年間10団体との連携により、令和3年度から5年で50の取組を目指す	実態把握	14
社会情勢の変化があっても可能な限り高水準の維持を目指す	実態把握	17
発達段階に応じたキャリア教育を進め、100%を目指す	小中：「豊かな心を育てる教育推進事業」 高校：「インターンシップ実施状況等調査」	22
啓発活動を推進し、100%を目指す	実態把握	24
社会教育に携わる関係機関の門戸を広げ、参加者の増加を目指す	実態把握	25~27

No	目標指標	種別	単位	基準値 (令和元年度)	目標数値 (令和7年度)
12	府立図書館における図書の貸出冊数	活動	冊	244,868	260,000
13	府立郷土資料館における出前授業等の受講者数	活動	人	15,765	増加させる
14	子育てに喜びや楽しみを感じている保護者の割合 ※調査では「親」と表記	成果	%	96	増加させる
15	子育ての悩みを気軽に相談できる人がいる保護者の割合 ※調査では「親」と表記	成果	%	90	増加させる
16	子どもが、将来に夢を持っていると思う保護者の割合 ※調査では「親」と表記	成果	%	83	増加させる
17	知っている人に会った時にあいさつをする子どもの割合	成果	%	小4:61.6% 中1:60.7% 中2:56.6%	増加させる
18	地域の行事に参加している子どもの割合	成果	%	小6:38.1% 中3:18.8%	増加させる
19	自分の夢や目標を持っている子どもの割合	成果	%	小6:82.4% 中3:66.6%	増加させる
20	学校のきまりや規則を守ることを日常的に意識している子どもの割合	成果	%	小6:91.5% 中3:95.5%	増加させる
21	人の役に立つ人間になりたいと思っている子どもの割合	成果	%	小6:95.6% 中3:94.4%	増加させる
22	キャリアアップや趣味に関する生涯学習等に取り組んでいる人の割合	成果	%	34.0	増加させる

目標設定の考え方	出典	関連方策
「京都府立図書館サービス計画（令和3年度～令和7年度）」の数値目標で掲げる260,000冊の貸出冊数をめざす	実態把握	29
文化振興と文化財に関する取組を進め、基準値より増加させることをめざす	実態把握	31～32
家庭に対する支援を進め、基準値より増加させることをめざす	京都府民の意識調査	1～7
家庭教育カウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置等を推進し、基準値より増加させることをめざす	京都府民の意識調査	1～3、7
家庭に対する支援を進め、基準値より増加させることをめざす	京都府民の意識調査	1～7
地域学校協働活動の取組を推進し、基準値より増加させることをめざす	京都府教育委員会「京都府学力診断テスト」質問紙調査	8～14
地域への参画意識を高め、基準値より増加させることをめざす	文部科学省「全国学力・学習状況調査（児童生徒質問紙）」	8～14
子どもの学びや育ちを支える取組を進め、基準値より増加させることをめざす	文部科学省「全国学力・学習状況調査（児童生徒質問紙）」	8、10～14
社会の担い手として生きる力をはぐくむ取組を進め、基準値より増加させることをめざす	文部科学省「全国学力・学習状況調査（児童生徒質問紙）」	15
子どもの学びや育ちを支える取組を進め、基準値より増加させることをめざす	文部科学省「全国学力・学習状況調査（児童生徒質問紙）」	15、21～22
生涯学習に関する取組を進め、基準値より増加させることをめざす	京都府民の意識調査	25～27

推進方策 6 文化振興と文化財の保存・継承・活用

No	目標指標	種別	単位	基準値 (令和元年度)	目標数値 (令和7年度)
1	高校生伝統文化事業参加生徒数	活動	人	10,694	10,000
2	文化系部活動を指定し、専門家による指導等を実施している府立高校の割合	活動	%	46.8	増加させる
3	「暫定登録文化財」の登録累計件数	活動	件	1,224	1,500
4	府内の有形・無形文化財の指定等の累計件数	活動	件	851	900
5	地域の文化財を活用した課題解決型学習に取り組む学校の割合	活動	校	—	10
6	文化財の建造物修理現場等の公開や文化財を活用したツアー・講座等の実施回数	活動	回	18	増加させる
7	地域の自然や歴史について関心がある子どもの割合	成果	%	小4:66.4 中1:52.9 中2:34.2	増加させる
8	住んでいる地域で、地域の文化・芸術活動が活発に行われていると思う人の割合	成果	%	53	増加させる
9	京都府では歴史的な文化遺産や文化財などが社会全体で守られ、活用されていると思う人の割合	成果	%	85	90.0

目標設定の考え方	出典	関連方策
少子化に伴い生徒数が減少する中で、現在の高水準を維持することを目指す	高校生伝統文化事業	1
現在の高水準からさらに増加させることを目指す	実態把握	3
文化財保護の取組を進め、毎年45件程度の登録を目指す	実態把握	13
文化財保護の取組を進め、毎年8件程度の指定等を目指す	実態把握	11~14
令和3年度から3年間1クールの研修指定事業として1クール5校で実施を目指す	実態把握	16
文化財保護の取組を進め、基準値より増加させることを目指す	実態把握	18、20
郷土学習の取組を進め、基準値より増加させることを目指す	京都府教育委員会「京都府学力診断テスト」質問紙調査	1~5
文化振興に関する取組を進め、基準値より増加させることを目指す	京都府民の意識調査	1~10
文化振興と文化財に関する取組を進め、基準値より増加させることを目指す	京都府民の意識調査	11~21

教育振興プランの推進と評価

教育振興プランは、京都府の教育の振興のための施策に関する基本的な計画です。

このため、個別の施策に関しては分野別の計画等を策定するとともに、具体的な事業については、客観的な根拠（エビデンス）に基づく政策立案を行うEBPMと、より効率的・効果的な施策のマネジメントを行うPDCA（計画・実行・評価・改善）サイクルに基づく事業化・予算化を図ります。

また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、各教育委員会は所管する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果を議会に報告し、広く一般に公表することとされています。この「教育委員会の事務の点検・評価」を通じて、教育振興プランの進捗状況について毎年度点検を行い、府民に対する説明責任を果たしていきます。

◎地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 関係機関との連携・協働

(1) 学校・家庭・地域の連携・協働

教育振興プランでは、「施策推進の視点」のひとつとして「学校・家庭・地域がコミュニティとしてそれぞれの強みを生かしてつなげる教育」を掲げています。

すべての子どもが「包み込まれているという感覚」と「自己肯定感」をはぐくむことができる環境を整えていくためには、学校はもとより家庭や地域がそれぞれの役割と責任と強みを自覚し、社会総がかりで教育に取り組むことが大切です。

そのため、京都府教育委員会では、子どもの教育について第一義的責任を有する家庭について社会全体で適切な支援を行うとともに、コミュニティの一員として子どもたちを迎え入れることとなる地域の教育力を高める取組を進めます。

(2) 市町(組合)教育委員会との協働

京都府教育委員会と市町(組合)教育委員会は、適切な役割分担と相互の協力の下、京都府の教育行政を力強く推し進めてきました。

京都府教育委員会は、京都府域で広域的に取り組む必要のある事業を実施するほか、教職員の任免や給与などの負担、府立学校などの設置管理、市町(組合)教育委員会への指導・助言・援助など、府内各地域の教育の均衡ある振興を図っています。

市町(組合)教育委員会は、小・中学校の設置者であり、地域における義務教育や社会教育の主たる担い手として、その地域の実情に応じた教育の振興を図っています。このため、教育振興プランの改定に当たっては、市町(組合)教育委員会との意見交換を重ねてきました。

今後も、教育振興プランの着実な推進に向けて、より一層連携を強め、京都府の教育のさらなる振興のために協働していきます。

(3) 国への働きかけ

国は、基本的な教育制度の枠組みや学習指導要領などの基準を定め、全国的な教育の機会均等と教育水準の維持向上を図っています。

京都府教育委員会は、教育振興プランに掲げた目標を着実に推進していくため、国に対して必要な制度改正や財政上の措置を講じるよう働きかけていきます。

また、今後も引き続き、教育の課題に現場の視点を取り入れながら迅速かつ的確に対応する京都府の教育改革の取組を進め、これを全国に発信していきます。

(4) 知事部局との連携

地方公共団体の長と教育委員会が協議を行う「総合教育会議」等を活用し、知事と十分な意思疎通を図るとともに、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、「子育て環境日本一」を目指す教育行政を強力に推進します。

教育振興プランの範囲は、京都府教育委員会が所管する事務の範囲を基本としていますが、公立と私立との連携を進めるとともに、幼児教育の質の向上等の様々な教育課題に対応するため、文化・スポーツ・健康・福祉・労働・警察など関係部局相互の連携をこれまで以上に深め、それぞれの施策が相乗的な効果を生み出すよう努めます。

(1) 「京都府教育振興プラン改定に係る検討会議」

第 2 期となる教育振興プランの策定に向けて、外部有識者の意見を聴取するため、「京都府教育振興プラン改定に係る検討会議」を令和元年 10 月に設置しました。

委員には、第 1 期の教育振興プランの策定から関わっていただいた学識経験者や市町（組合）教育委員会教育長の代表、保護者の代表、企業の方々のほかに、ICT 活用や幼児教育、非認知能力、特別支援教育など、現代の教育の重要課題に関し、最前線で活躍されている若手研究者にも参画いただきました。

<検討会議委員名簿> (五十音順、役職は令和 3 年 3 月時点)

氏名	役職等
座長 原 清治	佛教大学 副学長
青山 恵則	株式会社島津製作所 執行役員 総務部長
大野 百合	京都府立高等学校 P T A 連合会 顧問
岸本 文子	宇治市教育委員会教育長
佐藤 和紀	信州大学学術研究院教育学系 助教
中山 芳一	岡山大学全学教育・学生支援機構 准教授
村田 淳	京都大学学生総合支援センター 准教授

<会議の開催状況>

- 第 1 回 令和 2 年 1 月 22 日 改定の大きな方向性
- 第 2 回 令和 2 年 7 月 15 日 骨子案（基本理念、施策推進の視点、新プランの構成等）
- 第 3 回 令和 2 年 8 月 12 日 第 1 次素案（基本理念、施策推進の視点、推進方策）
- 第 4 回 令和 2 年 10 月 16 日 第 2 次素案（目指す教育の姿、施策の展開）
- 第 5 回 令和 2 年 11 月 10 日 中間案（重点アプローチ、現状と課題、主な取組、目標指標）
- 第 6 回 令和 3 年 1 月 22 日 最終案（教育環境日本一プロジェクト、目標指標の数値）

(2) 関係機関との意見交換

有識者会議以外にも、市町（組合）教育委員会や学校関係者、保護者の皆様から幅広くご意見をいただくために、様々な機会を捉えて意見交換等の場を設けました。

- 令和元年 7～8 月 市町（組合）教育委員会教育長との地域別懇談会
- 令和元年 11 月 市町（組合）教育委員研修会における意見交換
- 令和 2 年 4 月～ 府社会教育委員会議、P T A、校長会等の教育関係団体への報告・意見交換
- 令和 2 年 8 月 市町（組合）教育委員会教育長との地域別懇談会

(3) 府民意見の聴取（パブリック・コメント）

令和2年12月18日から令和3年1月12日にかけて、「京都府民意見提出手続（パブリック・コメント制度）」に基づき、府民の皆様から広くご意見を伺いました。

お寄せいただいた40名からの93件のご意見については、その趣旨を踏まえ教育振興プランに反映するもの、今後の具体的施策として予算化を図り取り組んでいくものなどに整理し、「意見の要旨」と「意見に対する府の考え方」を公表しました。

資料2 京都府の教育をめぐる状況

【京都府の地域別の将来人口推計】

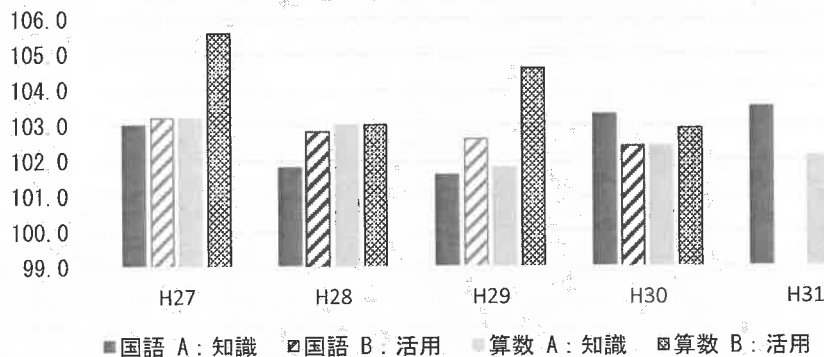
(単位：万人)

	将来推計						
	H27	R2	R7	R12	R17	R22	H27比較
京都府全体	261.0	257.4	251.0	243.1	233.9	223.8	▲37.2 (▲14.3%)
京都市域	147.5	147.2	145.2	142.3	138.7	134.3	▲13.2 (▲8.9%)
山城地域	70.4	69.4	67.4	64.8	61.7	58.5	▲11.8 (▲16.8%)
南丹地域	13.7	13.0	12.3	11.5	10.6	9.8	▲4.0 (▲28.8%)
中丹地域	19.7	18.8	17.9	17.0	16.0	15.0	▲4.6 (▲23.6%)
丹後地域	9.7	9.0	8.3	7.5	6.8	6.1	▲3.6 (▲37.0%)

(出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」)

平均正答率・小学校6年生(京都府)

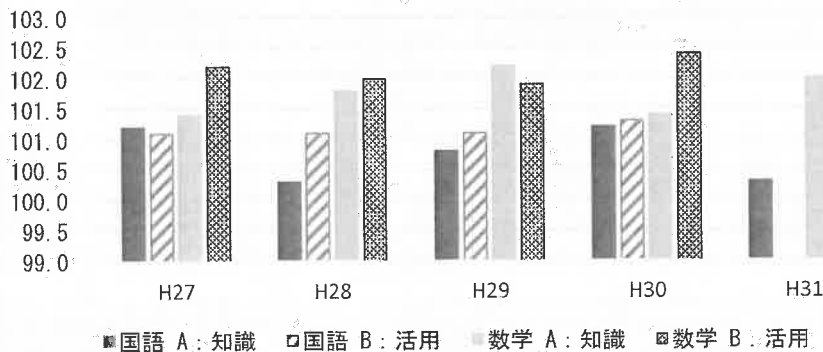
全国の平均正答率を100として標準化した数値
(平成31年度から「知識」と「活用」を一体化)



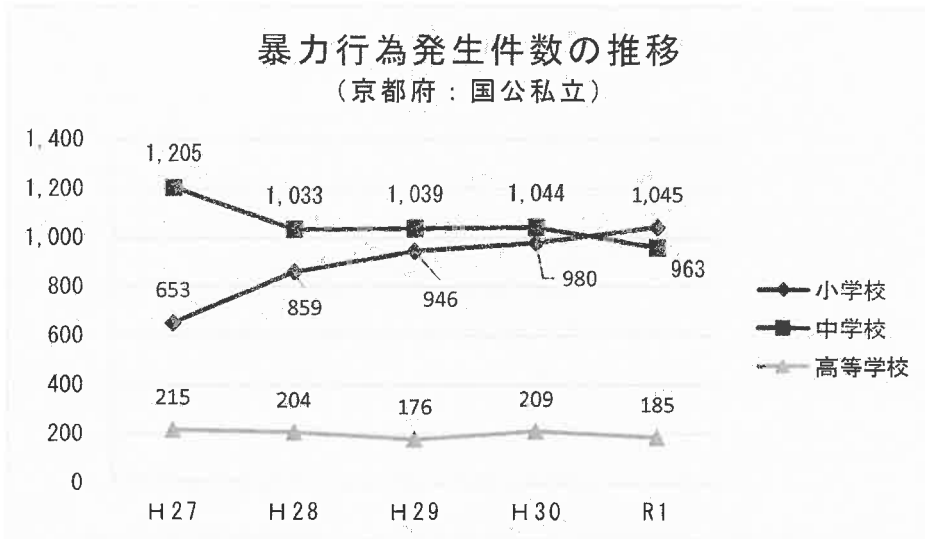
(出典：文部科学省「全国学力・学習状況調査」)

平均正答率・中学校3年生(京都府)

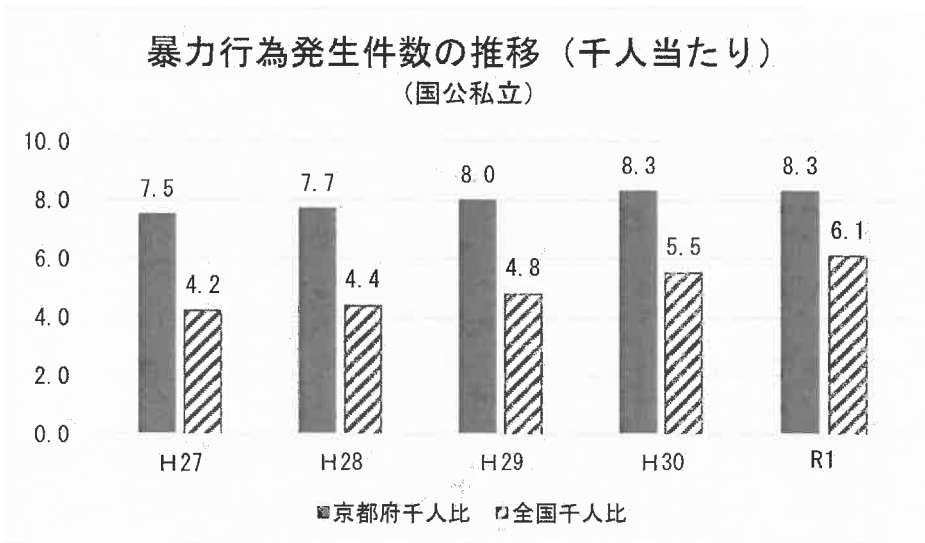
全国の平均正答率を100として標準化した数値
(平成31年度から「知識」と「活用」を一体化)



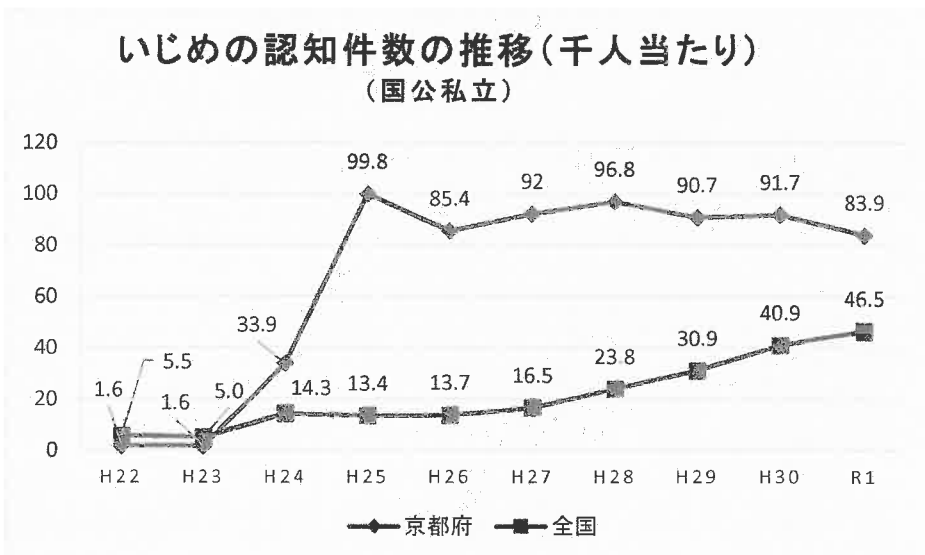
(出典：文部科学省「全国学力・学習状況調査」)



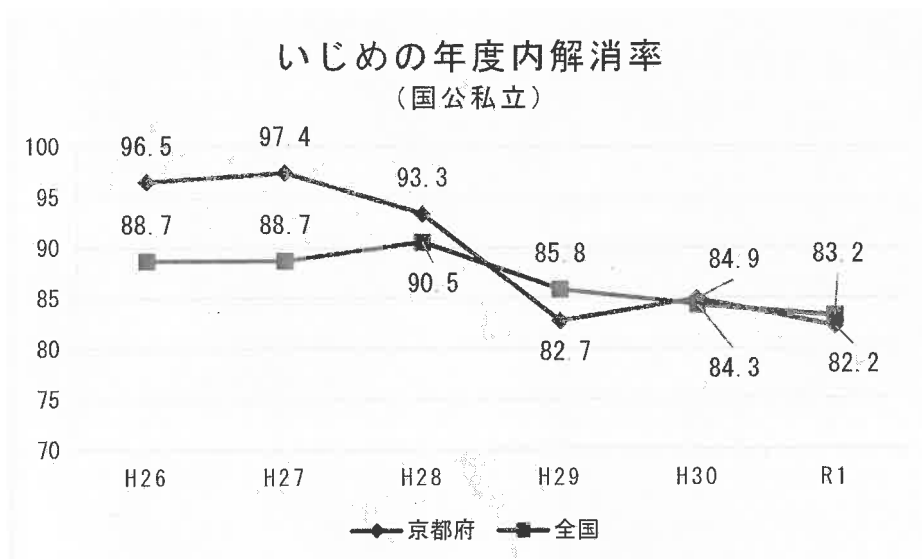
(出典：京都府教育委員会「児童生徒の問題行動・不登校等の状況」)



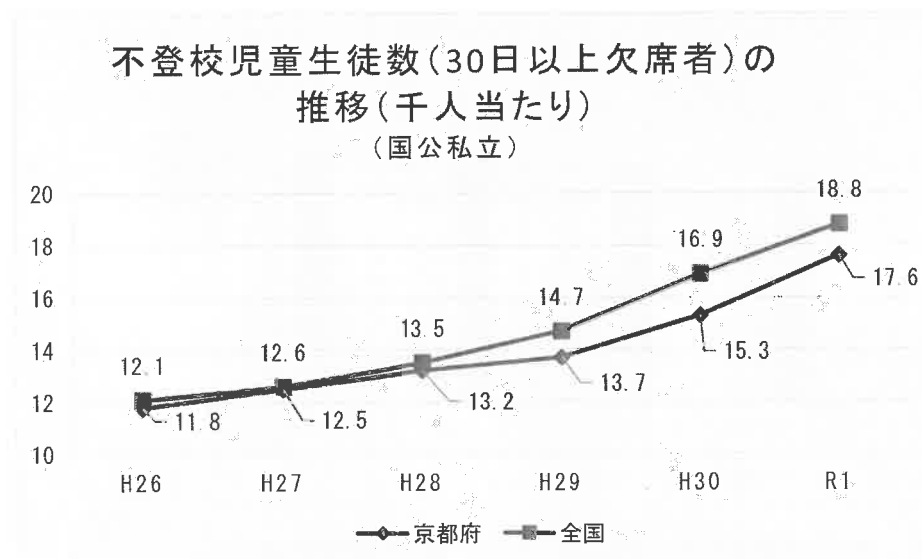
(出典：京都府教育委員会「児童生徒の問題行動・不登校等の状況」)



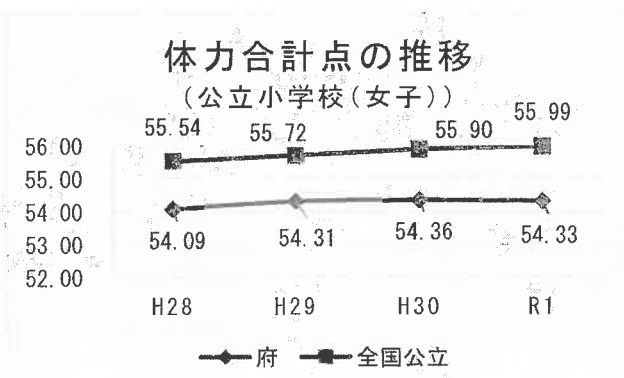
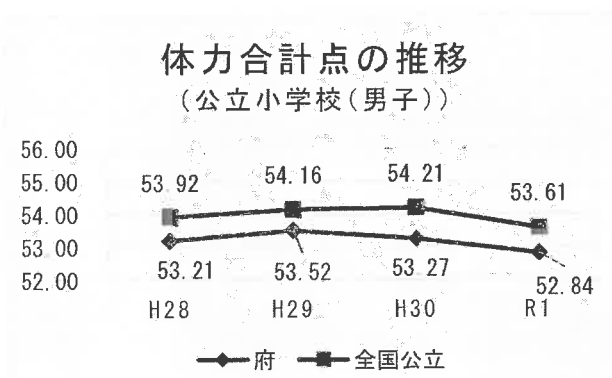
(出典：京都府教育委員会「児童生徒の問題行動・不登校等の状況」)



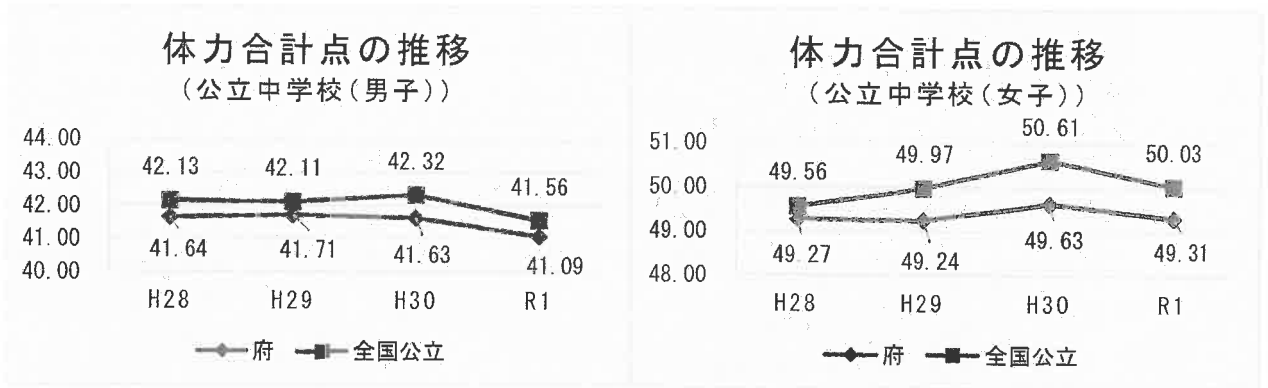
(出典：京都府教育委員会「児童生徒の問題行動・不登校等の状況」)



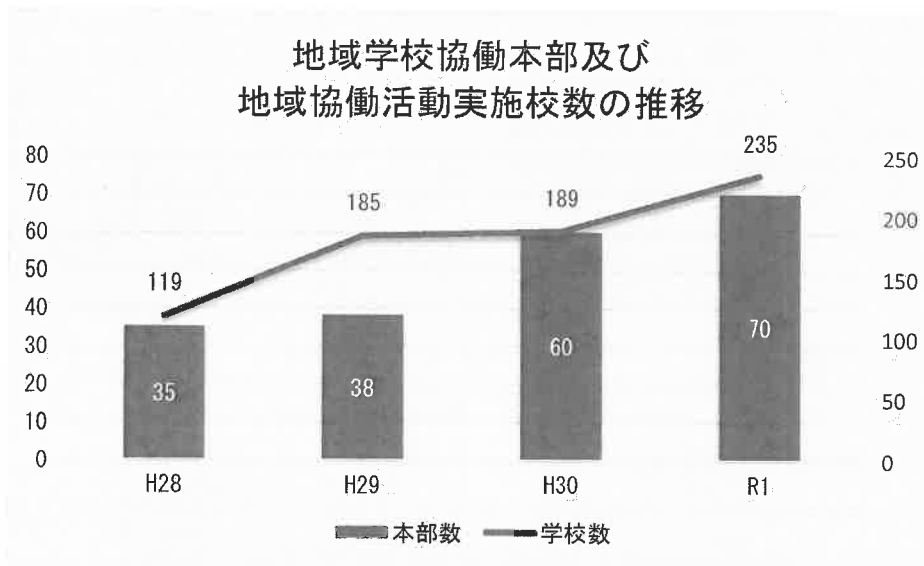
(出典：京都府教育委員会「児童生徒の問題行動・不登校等の状況」)



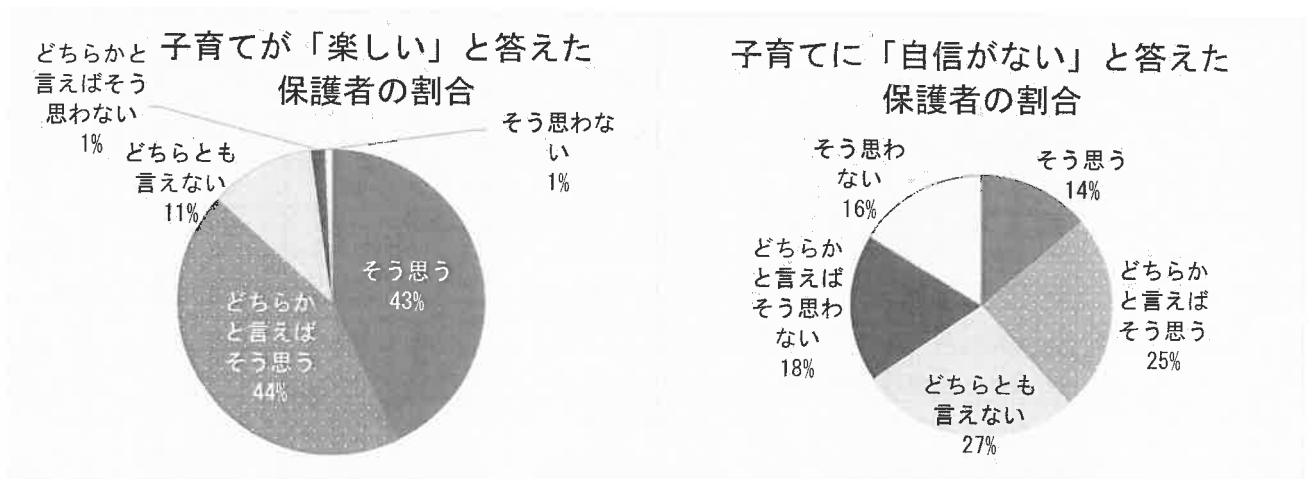
(出典：スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」)



(出典：スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」)



(出典：京都府教育委員会)



(出典：京都府教育委員会「家庭教育アンケート」)

資料3 第1期教育振興プランの目標指標の実績

◆総括

1. 主な目標指標の達成状況（重点目標別の状況）

重点目標	指標数(※)	達成指標数
① 質の高い学力をはぐくむ	14 (12)	8
② 人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性をはぐくむ	11 (11)	8
③ たくましく健やかな身体をはぐくむ	32 (32)	11
④ 一人一人を大切に、個性や能力を最大限に伸ばす	14 (14)	6
⑤ 社会の変化に対応し、よりよい社会の構築に貢献できる力をはぐくむ	15 (15)	8
⑥ 安心・安全で充実した教育の環境を整備する	25 (21)	11
⑦ 学校の教育力の向上を図る	12 (12)	6
⑧ すべての教育の出発点である家庭教育を支援する	3 (2)	2
⑨ 地域社会の力を活かして子どもをはぐくむ環境をつくる	8 (8)	2
⑩ 生涯学習社会の実現に向けて学習環境を充実させる	3 (2)	1
合計	137 (129)	63

※指標数における（ ）内の数との差は、令和元年度に調査未実施のもの

2. 主な目標指標の達成率

主な目標指標数	137 (129)	(割合)
目標指標の達成率が80%以上	120	(93.0%)
// 90%以上	111	(86.0%)
// 100%以上	63	(48.8%)
// 110%以上	10	(7.8%)
// 120%以上	6	(4.7%)

【重点目標別の達成率】

重点目標	指標数	達成率				
		80%以上	90%以上	100%以上	110%以上	120%以上
① 質の高い学力の育成	14 (12)	9	9	8	2	1
② 豊かな人間性の育成	11 (11)	11	11	8	2	1
③ 健やかな身体の育成	32 (32)	32	31	11	0	0
④ 個性や能力の伸長	14 (14)	13	12	6	0	0
⑤ 社会に貢献する力の育成	15 (15)	13	12	8	0	0
⑥ 安心・安全な環境整備	25 (21)	20	16	11	1	1
⑦ 学校の教育力の向上	12 (12)	10	10	6	2	1
⑧ 家庭教育の支援	3 (2)	2	2	2	2	1
⑨ 地域との連携	8 (8)	8	6	2	0	0
⑩ 生涯学習社会の実現	3 (2)	2	2	1	1	1
合計	137 (129)	120	111	63	10	6

◆重点目標別

重点目標 1

目標指標	基準値	目標	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績
全国学力・学習状況調査の平均正答率が全国平均正答率の1/2以下の子どもの割合	小6国: 6.9% 算: 9.3% 中3国: 5.2% 数: 17.7% (H27年度)	減少させる	小6国: 7.7% 算: 11.7% 中3国: 9.0% 数: 14.6%	小6国: 8.1% 算: 10.2% 中3国: 8.0% 数: 11.1%	小6国: 12.9% 算: 13.5% 中3国: 5.7% 数: 14.5%	小6国: 10.5% 算: 7.9% 中3国: 8.3% 数: 14.4%
学校の授業時間以外の勉強時間が平日1日当たり30分に満たない子どもの割合	小6: 14.4% 中3: 20.6% (H27年度)	小 10%以下 中 15%以下	小6: 14.2% 中3: 21.2%	小6: 13.3% 中3: 18.5%	小6: 11.5% 中3: 18.6%	小6: 10.4% 中3: 19.2%
国語や算数・数学の勉強が「好き」な子どもの割合	小6国: 55.9% 算: 64.2% 中3国: 54.9% 数: 53.1% (H27年度)	増加させる	小6国: 54.0% 算: 63.2% 中3国: 55.3% 数: 53.3%	小6国: 56.2% 算: 62.8% 中3国: 53.8% 数: 52.7%	小6算: 60.0% 中3数: 50.1% ※国語未調査	小6国: 61.3% 算: 66.0% 中3国: 56.0% 数: 53.7%
社会人などの専門性を活かした授業を実施している学校の割合	小: 87.7% 中: 63.2% 高: 100% (H26年度)	100%	小: 91.4% 中: 71.9% 高: 100%	小: 92.3% 中: 78.5% 高: 100%	高: 100% ※小中未調査	高: 100% ※小中未調査
高校・大学連携事業を実施している府立高等学校の割合	100% (H26年度)	100%	87.8%	100%	100%	100%

重点目標 2

目標指標	基準値	目標	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績
人が困っているときは進んで助けようとする子どもの割合	小4: 86.5% 中1: 85.6% 中2: 81.3% (H27年度)	増加させる	小4: 87.5% 中1: 85.7% 中2: 79.2%	小4: 87.0% 中1: 86.7% 中2: 80.5%	小4: 87.3% 中1: 87.3% 中2: 80.8%	小4: 87.1% 中1: 87.3% 中2: 93.2%
地域の自然や歴史について関心がある子どもの割合	小4: 67.6% 中1: 51.7% 中2: 33.9% (H27年度)	増加させる	小4: 70.2% 中1: 52.4% 中2: 33.6%	小4: 66.8% 中1: 51.9% 中2: 34.9%	小4: 66.0% 中1: 54.6% 中2: 33.2%	小4: 66.4% 中1: 52.9% 中2: 34.2%
自分には、よいところがあると思う子どもの割合	小6: 76.6% 中3: 68.3% (H27年度)	増加させる	小6: 75.9% 中3: 67.7%	小6: 77.9% 中3: 70.6%	小6: 83.8% 中3: 77.0%	小6: 80.4% 中3: 71.4%
朝の読書などの一斉読書の時間を週1回以上設けている学校の割合	小: 95.8% 中: 92.6% (H26年度)	100%	小: 95.7% 中: 92.7%	小: 97.1% 中: 94.6%	小: 98.5% 中: 96.9%	小6: 99.0% 中3: 96.9%
高校生伝統文化事業参加生徒数(年間/延べ人数)	7,289人 (H26年度)	7,800人	8,431人	7,893人	8,020人	10,694人

重点目標3

目標指標	基準値	目標	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績
運動やスポーツをすることが好きな子どもの割合	<小5> 男子:93.6% 女子:85.8% <中2> 男子:88.9% 女子:77.6% (H27年度)	増加させる	<小5> 男子:93.3% 女子:85.1% <中2> 男子:88.3% 女子:76.5%	<小5> 男子:92.8% 女子:85.4% <中2> 男子:89.5% 女子:76.1%	<小5> 男子:92.9% 女子:83.5% <中2> 男子:87.9% 女子:74.8%	<小5> 男子:92.9% 女子:85.5% <中2> 男子:88.7% 女子:76.5%
1週間の総運動時間が60分未満の子どもの割合	<小5> 男子:6.8% 女子:13.3% <中2> 男子:6.9% 女子:20.5% (H27年度)	減少させる	<小5> 男子:6.6% 女子:11.9% <中2> 男子:6.3% 女子:20.5%	<小5> 男子:6.6% 女子:13.1% <中2> 男子:5.3% 女子:19.1%	<小5> 男子:7.1% 女子:14.5% <中2> 男子:6.0% 女子:19.5%	<小5> 男子:7.8% 女子:13.6% <中2> 男子:6.6% 女子:19.5%
子どもの体力・運動能力の状況	<小5> 50m走 男子9.17秒 女子9.65秒 握力 男子16.26kg 女子15.78kg ボール投げ(※) 男子24.57m 女子15.22m <中2> 50m走 男子7.93秒 女子8.72秒 握力 男子28.88kg 女子23.77kg ボール投げ(※) 男子20.51m 女子13.28m (H26年度)	向上させる	<小5> 50m走 男子9.19秒 女子9.46秒 握力 男子16.25kg 女子15.61kg ボール投げ(※) 男子24.05m 女子15.38m <中2> 50m走 男子7.84秒 女子8.65秒 握力 男子29.01kg 女子24.00kg ボール投げ(※) 男子19.99m 女子13.40m	<小5> 50m走 男子9.14秒 女子9.42秒 握力 男子16.26kg 女子15.89kg ボール投げ 男子23.90m 女子15.44m <中2> 50m走 男子7.85秒 女子8.56秒 握力 男子29.05kg 女子24.46kg ボール投げ 男子20.35m 女子13.91m	<小5> 50m走 男子9.12秒 女子9.42秒 握力 男子16.36kg 女子15.83kg ボール投げ 男子23.84m 女子15.14m <中2> 50m走 男子7.84秒 女子8.62秒 握力 男子28.75kg 女子23.65kg ボール投げ 男子20.31m 女子13.77m	<小5> 50m走 男子9.19秒 女子9.51秒 握力 男子16.15kg 女子15.81kg ボール投げ(※) 男子23.27m 女子14.96m <中2> 50m走 男子7.84秒 女子8.65秒 握力 男子28.74kg 女子23.68kg ボール投げ(※) 男子20.14m 女子13.36m
基本的な生活習慣「早寝、早起き、朝ごはん」が身に付いている子どもの割合 ①12時(小学校4年生は11時)までに就寝する子どもの割合	小4:93.1% 中1:93.5% 中2:82.1% (H27年度)	増加させる	小4:93.5% 中1:93.2% 中2:81.6%	小4:93.4% 中1:93.8% 中2:80.8%	小4:92.7% 中1:94.0% 中2:81.7%	小4:93.4% 中1:93.9% 中2:80.7%
②7時までには起床する子どもの割合	小4:81.2% 中1:76.2% 中2:70.5% (H27年度)	増加させる	小4:82.1% 中1:76.7% 中2:69.9%	小4:81.0% 中1:77.3% 中2:69.7%	小4:81.1% 中1:77.5% 中2:69.3%	小4:80.0% 中1:76.8% 中2:69.7%
③朝食を毎日食べる子どもの割合	小4:86.7% 中1:85.3% 中2:83.1% (H27年度)	増加させる	小4:86.2% 中1:84.6% 中2:82.5%	小4:86.2% 中1:83.6% 中2:82.4%	小4:85.2% 中1:83.3% 中2:80.8%	小4:84.2% 中1:83.3% 中2:80.4%
薬物乱用防止教室を実施している学校の割合	小:65.3% 中:86.5% 高:89.1% (H26年度)	100%	小:100% 中:100% 高:100%	小:100% 中:100% 高:100%	小:100% 中:100% 高:100%	小:99% 中:99% 高:100%

重点目標 4

目標指標	基準値	目標	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績
京都府作成の人権教育関係資料を活用して人権学習や研修等を実施している学校の割合	100% (H26年度)	100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%
特別な支援を要する子どもに係る個別の指導計画が作成されている割合	小：100% 中：97.9% 高：62.5% (H26年度)	100%	小：100% 中：94.9% 高：41.8%	小：99.5% 中：96.9% 高：56.4%	小：93.5% 中：83.9% 高：71.7%	小：94.7% 中：86.2% 高：61.7%
特別支援学校生徒の就職率	24.7% (H26年度)	30%	34.5%	27.7%	27.3%	29.1%
保育所、幼稚園、認定こども園及び家庭と連携して交流活動を実施している小学校の割合	96.2% (H26年度)	100%	97.1%	97.1%	95.6%	95.6%
自分の夢や目標を持っている子どもの割合	小6:85.7% 中3:69.2% (H27年度)	増加させる	小6:84.5% 中3:68.7%	小6:84.7% 中3:68.2%	小6:84.0% 中3:70.6%	小6:82.4% 中3:66.6%
キャリア教育に関する体験活動を実施している学校の割合	小100% 中100% 高100% (H26年度)	100%	小：100% 中：100% 高：100%	小：100% 中：100% 高：100%	小：100% 中：100% 高：100%	小：100% 中：100% 高：100%
府立学校生徒の全国高校総体、国民体育大会など全国大会の出場者数及び8位入賞数（年間／延べ数）	出場者数 339人 8位入賞数 131人・校 (H26年度)	増加させる	出場者数 357人 8位入賞数 85人・校	出場者数 383人 8位入賞数 100人・校	出場者数 365人 8位入賞数 88人・校	出場者数 362人 8位入賞数 125人・校

重点目標 5

目標指標	基準値	目標	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績
学校のきまりや規則を守ることを日常的に意識している子どもの割合	小6:90.2% 中3:93.9% (H27年度)	増加させる	小6:90.1% 中3:93.9%	小6:91.6% 中3:95.0%	小6:87.5% 中3:94.9%	小6:91.5% 中3:95.5%
人の役に立つ人間になりたいと思っている子どもの割合	小6:94.2% 中3:93.8% (H27年度)	増加させる	小6:94.1% 中3:92.7%	小6:93.1% 中3:91.9%	小6:95.4% 中3:95.4%	小6:95.6% 中3:94.4%
環境教育に取り組んでいる学校の割合	小:96.7% 中:81.1% 高:100% (H26年度)	100%	小:99.0% 中:84.4% 高:100%	小:99.5% 中:86.0% 高:100%	小:99.0% 中:87.6% 高:100%	小:99.0% 中:87.6% 高:100%
情報モラルの指導を実施している学校の割合	小:99.1% 中:98.9% 高:100% (H26年度)	100%	小:100% 中:100% 高:100%	小:99.0% 中:100% 高:100%	小:97.5% 中:100% 高:100%	小：98.5 中：98.9 高:100%
家族の大切さ、子どもを生み育てる意義などを学習する体験学習実践プログラムを導入した府立高校の割合	—	100%	54.5%	92.7%	98.2%	100.0%
公立中学・府立高等学校の英語教員のうち、英検準1級以上等を取得している教員の割合	中：28.1% 高：58.6% (H26年度)	中学校： 50% 高校：75%	中：34.3% 高：67.2%	中:42.5% 高:63.8%	中:47.7% 高:60.1% (CEFR B2)	中:47.7% 高:59.2% (CEFR B2)
外国の生徒等と交流している府立高等学校の割合	42.6% (H26年度)	100%	59.6%	55.3%	66.0%	61.7%
海外留学を行った府立高等学校の生徒数（24年度以降の延べ人数）	100人 (H24年度末)	900人	507人	629人	788人	916人

重点目標6

目標指標	基準値	目標	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績
危機管理マニュアルを毎年点検及び見直す学校の割合	小92.3% 中82.1% 高70.5% 特73.3% (H25年度)	100%	小:98.6% 中:94.8% 高:87.1% 特:92.9%	小:99.0% 中:94.8% 高:90.3% 特:85.7%	小:100% 中:100% 高:100% 特:100%	調査なし
千人当たりの暴力行為の件数(年間)	小中高 8.9件 (H26年度)	減少させる	小中高 8.7件	小中高 8.0件	小中高 8.3件	小中高 8.3件
認知されたいじめの年度内解消率	96.6% (H26年度)	増加させる	93.4%	82.5%	84.9%	82.2%
教育相談機能の充実を図るためのスクールカウンセラーを配置している学校の割合	小:7.4% 中:100% 高:100% (H27年度)	小増加させる 中・高:100%	小:12.9% 中:100% 高:100%	小:17.6% 中:100% 高:100%	小:18.0% 中:100% 高:100%	小:19.1% 中:100% 高:100%
経済的に困難な家庭の子どもの「全国学力・学習状況調査」における平均正答率	小6国 府:61.0% 要:41.7% 準:52.1% 小6算 府:71.8% 要:55.9% 準:64.6% 中3国 府:74.3% 要:60.2% 準:68.0% 中3数 府:57.6% 要:37.6% 準:48.6% (H25年度)	増加させる	小6国 府:68.0% 要:51.2% 準:60.8% 小6算 府:65.9% 要:51.7% 準:59.3% 中3国 府:73.8% 要:54.8% 準:67.6% 中3数 府:58.0% 要:36.1% 準:46.9%	小6国 府:68.3% 要:52.1% 準:62.1% 小6算 府:66.2% 要:45.4% 準:56.2% 中3国 府:76.8% 要:58.3% 準:67.8% 中3数 府:61.0% 要:34.7% 準:49.8%	小6国 府:65.5% 要:47.0% 準:60.0% 小6算 府:59.6% 要:37.1% 準:51.7% 中3国 府:73.4% 要:61.7% 準:70.2% 中3数 府:61.8% 要:40.0% 準:55.4%	小6国 府:65.0% 要:39.3% 準:54.3% 小6算 府:67.9% 要:47.9% 準:57.1% 中3国 府:73.0% 要:41.0% 準:63.0% 中3数 府:60.6% 要:32.5% 準:48.1%
学校耐震化率(公立小・中・高・特別支援学校)	小中:98.8% 高:91.9% 特支:100% (H27.4.1現在)	100%	小中:99.9% 高:100% 特支:100%	小中:100% 高:100% 特支:100%	小中:100% 高:100% 特支:100%	小中:100% 高:100% 特支:100%

重点目標7

目標指標	基準値	目標	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績
図書館を毎日開館している学校の割合	小93.4% 中72.7% 高100% (H26年度)	100%	小:94.3% 中:69.8% 高:100%	小:95.7% 中:72.0% 高:100%	小:95.6% 中:72.2% 高:100%	小:95% 中:72.1% 高:100%
ボランティアや公立図書館と連携した読書活動を行っている学校の割合	小96.5% 中61.7% 高95.7% (H26年度)	100%	小:96.7% 中:60.4% 高:100.0%	小:98.6% 中:59.1% 高:95.9%	小:97.1% 中:58.8% 高:100%	小:94.6% 中:46.3% 高:100%
府立学校の運動部への外部指導者の派遣回数(年間/延べ回数)	1,972回 (3,944時間) (H26年度)	増加させる	2,751回	5,814時間	4,941時間	4,963時間
府総合教育センターの研修(出前講座を含む)を受講する教職員数(年間/延べ人数)	23,260人 (H26年度)	24,000人以上	24,090人	24,802人	24,283人	27,467人
保護者や地域住民等による学校評価を行っている学校の割合	小:93.9% 中:90.5% 高:100% 特:100% (H26、23年度)	100%	小:96.7% 中:93.8% 高:100% 特:100%	小:95.7% 中:93.5% 高:100% 特:100%	小:96.1% 中:93.8% 高:100% 特:100%	小:95.1% 中:92.8% 高:100% 特:100%

重点目標8

目標指標	基準値	目標	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績
家庭教育に関する講座等の開催回数（年間）	255回 (H26年度)	300回	356回	449回	399回	387回
家庭教育カウンセラー延べ相談件数	321件 (H26年度)	増加させる	373件	422件	411件	381件
子育てが「楽しい」と思う保護者の割合	86% (H24年度)	増加させる	調査なし	調査なし	調査なし	調査なし

重点目標9

目標指標	基準値	目標	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績
地域の特色を活かした子どもの活動の場の数	69箇所 (H26年度)	100箇所	79箇所	83箇所	86箇所	84箇所
地域住民及び企業やNPO等と連携して学校支援活動が行われている学校の割合	小:86.7% 中:81.9% (H26年度)	100%	小:91.4% 中:81.9%	小:91.4% 中:75.0%	小:95.6% 中:73.9%	小:95.6% 中:88.0%
知っている人に会った時にあいさつをする子どもの割合	小4:61.6% 中1:62.4% 中2:58.5% (H27年度)	増加させる	小4:62.1% 中1:62.1% 中2:59.6%	小4:62.8% 中1:61.8% 中2:59.4%	小4:62.1% 中1:61.4% 中2:57.8%	小4:61.6% 中1:60.7% 中2:56.6%
地域の行事に参加している子どもの割合	小6:39.1% 中3:18.0% (H27年度)	増加させる	小6:41.5% 中3:17.3%	小6:36.0% 中3:15.0%	小6:36.7% 中3:16.4%	小6:38.1% 中3:18.8%

重点目標10

目標指標	基準値	目標	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績
文化財講座等の参加者数（年間）	7,918人 (H23～26年度平均)	8,000人	10,085人	13,555人	12,126人	10,416人
週1回以上運動やスポーツを行う成人の割合	53.6% (H24年度)	増加させる	調査なし	48.7%	調査なし	調査なし
府立図書館の本の貸出冊数	247,284冊 (H26年度)	270,000冊	245,895冊	245,860冊	249,350冊	244,868冊

